

第七十六回
帝國議會
貴族院

樺太開發株式會社法案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十六年二月十九日(水曜日)午前十時
二十二分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今

ヨリ開會致シマス、昨日一應質疑ヲ終了シ
タノデアリマスルケレドモ、尙殘タル部分
ニ付テ質疑ヲ繼續サレムコトヲ望ミマス

○子爵梅園篤彦君 恐縮デゴザイマスガ、
討論ニ先ダチマシテ尙一點ダケ御伺ヒ致シ
タイト思ヒマス、申ス迄モナク、我が南進

政策ト共ニ北進政策モ亦重要ナル國策デア
リマス、而モ樺太ハ北進政策ノ根據地デア
リ、基點デアリマス、然ラバ之ガ開發ノ爲

ニハ水産業モ相當重要視スル必要ガアルト
考ヘルノデアリマス、然ルニ政府委員ノ御
説明ニ依リマスルト、樺太ノ漁業ハ主トシ

テ沿岸漁業デ、唯僅カニ沖合底曳漁業ガア
ルノミデアルカラ、水産業ヲバ本會社ノ事

業目的ノ中ニ取入レ大資本ヲ投ジマシテモ、
其ノ漁獲ヲ殖ス場所ガナイト云フヤウナ風

ニ御説明ガアッタト伺フノデアリマスガ、ド
ウモ是ダケデハ私納得ガ出來ナイノデアリ

マス、沿岸漁業ニ於キマシテハ御説ノ通り
デアリマスルガ、遠洋漁業ヲ輕視スルト云

フコトハドウデアラウカト考ヘルノデアリ
マス、露領沿海州、「カムチカ」方面ハ所謂

世界三大漁業場ノ一ツデアリマシテ、此ノ
大漁場ガ眼前ニブラツイテ居ルノデアリマ

第四部第一七類

樺太開發株式會社法案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十六年二月十九日

貴族院

有望デアルト云フコトデアリマスルシ、又
捕鯨ナドモ是亦有望デアルト聞イテ居リマ

ス、之ヲ要スルニ遠洋漁業ニモツカ入レ、
其ノ漁田ヲモ開發スルト共ニ鯨油、魚油ノ製

油工業又ハ海產物ノ加工工業ヲバ大イニ御
興シナリマシテ、サウシテ北進政策ノ基

點デアル樺太ノ開發ヲバ全カラシメルト云
フ必要ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、

就キマシテハ政府ニ於テ水産業、殊ニ遠洋
漁業竝ニ鯨油、魚油ノ製油工業或ハ水產物

ノ加工工業ト云フヤウナ點ニ力ヲ御入レニ
ナルト云フ御考ハナインデゴザイマセウカ、

此ノ點ニ付テ伺ッテ置キタイト思ヒマス
○政府委員(小河正儀君) 御答ヲ申上ゲマ

ス、政府ト致シマシテ、此ノ會社法ノ第十
二條ノ第一項ノ一號ノ中ニ水産業ト云フモ

ノハ入レテゴザイマセヌノデゴザイマスガ、
是ハ會社直接ノ仕事トシテヤル仕事ヲ此處

ニ實ハ列舉シタ譯デゴザイマシテ、只今御
示シノヤウナ水産業ニ關シマシテハ、樺太

ト致シマシテ大イニ力ヲ入レナケレバ相成
ラスコトニ付テハ、只今御質問ニアリマシ

タ通りノ考ヲ持ッテ居リマス、從ッテ水産業
ニハ大イニ力ヲ入レル考デ居リマスルガ、

非常ニ大デアル、一方漁業組合全體ヲ通ジテ
之ガ一元の指導統制ヲサセテ居リマスルノ

ハ、樺太共同漁業株式會社ト云フモノヲシ
テ之ガ指導統制ニ當ラセテ居リマスルノデ、

左様ナ理由ニ依リマシテ此ノ第一號ニ加ヘ
ナカッタ譯デゴザイマスルガ、此ノ第三號竝

ニ第五號ニ依リマシテ所謂投資ト申シマス
ルカ、傍系會社ト申シマスルカ、左様ナモ

ノヲ組織致シマシテ、水產物ノ加工事業、
御示シノヤウナ魚油ノ精製其ノ他ノ仕事或

ハ漁獲物ノ鹽藏又ハ「フィッシュ・ミール」等
ノ加工食料化ト云フヤウナ仕事、更ニ進ミ

マシテ遠ク沿海州沿岸ノ公海ニ於ケル沖合
漁業ニ進出等ノコトニ付キマシテハ傍系ノ

會社ヲ以テ十分之ヲヤラセル考ニ致シテ居
リマス、當局ト致シマシテハ只今ノ御尋ト

全然同様ノ考ヲ持ッテ居ル次第デゴザイマ
スルノデ、ドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒタイト

存ジマス
○男爵周布兼道君 私二、三御質問ヲ致シタ
イト思ヒマス、今回ノ樺太開發株式會社法

案中ニ、石油ノコトニ付キマシテハ何モ舉
ゲテゴザイマセヌ、石炭ニ付キマシテハ重

點ヲ注ガレテ居リマスルケレドモ、少シ物足
リナイト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテ

マシテ、而モ相當有望視サレルモノデゴザ
イマス、從ッテ樺太廳ニ於キマシテハ昭和十

四年以降石油試掘補助金ヲ交付致シマシテ、
積極的ニ石油ノ試掘ノ獎勵ニ努メツ、アル

ノデゴザイマスルガ、現在迄日本石油株式
會社ニ之ガ試掘ヲ爲サシメテ居リマスルガ、

今日迄努メマシタ試掘ハ政府ノ補助ヲ致シ
マシタ井戸、補助井ニ於キマシテ十二デゴザ

イマス、ソレカラ非補助井ニ於キマシテ二
井、二ツアルノデゴザイマス、其ノ各井戸

ニ付キマシテハ、或ハ途中ニ於キマシテ「ガ
ス」ノ發噴ヲ見マシタ井戸モゴザイマスシ、

中ニハ油兆ヲ見マシタ井戸モアリマシテ、
更ニ極ク最近ニヤリマシタ一昨年カラ昨年

ニ掛ケテ試掘ヲ致シマシタ所ハ、僅カナガ
ラ油ガ出マシテ、一晝夜ニ七升ト云フヤ

ウナ油ヲ酌シダコトモアルノデアリマスルケ
レドモ、マダ經濟的ニ是ガ酌ミ上ゲン引合

フト云フ井戸ニ出會ハシテ居ナイコトハ非
常ニ遺憾デゴザイマスルガ、今迄ノ結果ニ

依ッテ見マスルト、必ズ樺太カラ石油ガ出ル
ト實ハ考ヘテ居リマス、御承知ノ如ク稚内

ニハ既ニ石油ガ出テ居リマス、從ッテ樺太カ
ラモ出ルト考ヘテ居リマシテ、只今、此

補助金ハ内地ニ於ケル試掘ノ補助金ヨリモ、其ノ補助ノ比率ガ甚ダ薄クアリマシタノデ、業者ト致シマシテモ、非常ニ困ッテ居リマシタノデ、來年度ノ豫算ニ於キマシテハ内地同様ノ補助率ヲ補助致シマスルコトニ計畫ヲ致シテ居リマス、併シナガラ、何シロ一個所ニ當ッテ十四本ノ試掘ヲ致シタノデアリマスルナラバ、餘程の確ニ相成ルノデゴザイマスルガ、廣イ範圍ニ互ッテ、散漫的ニ、只今迄十四本ノ試掘ヲ致シテ居ルノデゴザイマスルノデ、今後尙積極的ニ之ヲ稠密ニ各油田ニ付キマシテ、澤山ノ試掘ノ井戸ヲ掘ッテ行キマシテ、其ノ油田ガ駄目ナラ駄目ト云フコトノ、ハッキリシタ見極メノ付ク迄ヤラセルト云フコトガ必要デハナイカト思フノデゴザイマス、ソレニハ來年度豫算ノ一本ノ試掘ト云フヤウナコトデハ、到底不可能デゴザイマスノデ、明後年以降ニ於キマシテハ、今少シク之ヲ澤山積極的ニ開發ニ當ラナケレバ相成ラヌト、實ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、唯何シロ此ノ石油ノ試掘ハ、試掘ノ資材ト、試掘ノ技術員ト云フモノガナカナ得ニクイノデゴザイマス、從ッテ之ヲ得ルト云フコトニ非常ナ苦勞ヲ致スノデゴザイマスルガ、幸ヒ日本鑛業開發株式會社ト云フモノガ出來マシテ、日本ニ於ケル石油試掘業ヲ殆ド專管シテヤルト云フヤウナ状態ニナリマスルナラバ、此ノ會社ニ委託致シマシテ之ガ開發ニ當ルト云フコトモ一方法デゴザイマス、又石油ノ試掘ト云フモノハ過去ノ經驗ニ依リマスルト、「アメリカ」アタリデモ大體六十本ノ試掘ニ對シテ一本ノ出油ヲ見レバ宜イト云フヤウナ比率ニ相成ッテ居ルノデゴザイマシテ、普通ノ營利會社ニ之ヲ託

シマシテモ、ナカ／＼其ノ實效ヲ上ゲルコトガムヅカシイノデアリマシテ、只今國內ニ於キマシテモ試掘國營論ト云フヤウナモノガ行ハレテ居ルヤウナ状態デゴザイマスルノデ、場合ニ依ッテ樺太廳、直接ニ之ガ開發ニ當ルト云フコトモ必要デナイカト考ヘテ居リマスルガ、何シロ只今申上ゲマシタヤウナ状態ノ事業デゴザイマシテ、的確ナル將來ノ見透シノ付キニクイコトデアリマスノデ、此ノ會社ニ之ヲやらセマスルコト云フコトガ甚ダ不安定ニ考ヘテ居リマスルコトノ事項ヲ入レナカッタ譯デアリマス

ト存シマスルガ、此ノ會社モ行ク／＼ハ弱小ノ炭鑛デ資本ガ足りナイガ故ニ只今經營ニ非常ニ困ッテ居ル、併シナガラ豐富ナル資本ヲ持ッテ強力ニ開發シテ行クナラバ「ペイ」スルト云フヤウナ炭鑛ニ付キマシテハ、將來ノ計畫トシテハ之ヲ實收ナリ、自分ノ翼下ニ收メテ行クト云フヤウナコトハ考ヘ得ルコトデゴザイマシテ、又左様ナルコトモ考ヘナイデハナイノデゴザイマスガ、設立ニ當ッテ初メカラサウ云フモノヲ入レルナリマス、色々ナコトデナカ／＼困難ヲ感ジマスノデ、一應設立ニ當リマシテハ、此ノ兩名好ノ炭鑛ヲ開發スルト云フコトヲ基本ニ致シマシテ目論見ヲ致シタ、斯ウ云フヤウナ譯デゴザイマス

項ヲ勅令デ規定シテ居ルヤウナ有様デアリマス、從ッテ南拓ノ場合モ矢張り普通デゴザイマシタラ勿論法律ガ要ルノデゴザイマスガ、南洋群島ハ只今申上ゲマシタヤウニ憲法ガ行ハレナイト云フ解釋ノ下ニ立法事項ヲ勅令デ規定致シテ、現在デモ南洋拓殖株式會社ニ關スル條項ハ勅令ニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、サウ云ウ意味合デ他ノ地域ト根本的ニ法制ノ建前ガ違ッテ居ル譯デアリマス、ソレデ罰則ニ付キマシテハ勅令ト雖モ勿論一定ノ限度迄ハ罰則ヲ規定シテモ差支ナイノデゴザイマスケレドモ、是亦從來慣例上關東州ニ致シマシテモ南洋廳ニ致シマシテモ、勅令ニハ多クノ場合罰則ヲ規定シテ居ナイノデゴザイマス、ドウ云フ譯カト云フコトハチヨットハッキリ申シ兼ねマスケレドモ、慣例上サウ云フヤウナ工合ニナッテ居リマシテ、罰則ハ勅令デハ餘リ規定シナイト云フ例ニ則ッテ、南洋拓殖ノ場合モ罰則ヲ披イテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、全然罰則ガナイカト云フト必ズシモサウデハゴザイマセヌ、南洋廳長官ノ權限内ニ於テ多分、チヨット限度ハ忘レマシタケレドモ、或程度迄ノ罰則ヲ規定シ得ルコトニナッテ居リマシテ、ソレニ基イテ會社ノ役員ガ何カ違法ノコトヲヤッタ場合ニハ、其ノ限度ニ於テ罰則ノ適用ヲ受ケルト云フコトニ相成ッテ居リマス、ソレカラ今御話ノ今回ノ二十八條ニハ五千圓以下ト云フコトニ相成ッテ居リマシテ、是ハ南洋拓殖ノ場合ニ較ベマスルト云フト非常ナ重イ罰ニ相成ル譯デアリマスルガ、恐ラク他ノ從來ノ特殊會社ノ例ニ較ベマシテモ高ク相成ッテ居ルカト思ヒマス、是ハ最近司法省ト致シマシテ色々罰則ヲ從來ヨリモ漸次加重スルト云フヤ

○男爵周布兼道君 ソレデハ次ニ伺ヒタイト思ヒマス、本會社ハ國策會社デゴザイマスカラ今度御目論見ニナリマシタノハ石炭ニ重點ヲ置カレテ、其ノ方デ利益ヲ産ミ出シテ行ク、サウシテ一方植林ナリ農場ナリ、相當資本ノ要リマスコトヲナサルト云フコトハ實行上ニ於テハ非常ニ結構デゴザイマスガ、國策會社ト致シマシタナラバ、五千萬圓モ資本ヲ御掛ケニナルノナラバ、各所ニ散在シテ居リマス餘リ計算ノ合ハナイヤウナ石炭鑛區モゴザイマセウカラ、サウ云フモノヲ開發のナ意味デ、寧ロ此ノ會社ガオヤリニナッタ方ガ宜イノデハナイカト思フノデスガ、先日伺ヒマス、兩名好ノ炭鑛ノ如キハ相當良イ炭鑛デ、此ノ方カラハ利益ガ大分上ル、サウ云フ利益ノ上ルモノヲ國策會社ガヤリマセヌデモソレハ他ヘ委シテ、寧ロ貧鑛ノ如キモノヲ此ノ國策會社ガヤルト云フ方ガ建前トシテハ適當ナシデハゴザイマセヌデセウカ、其ノ邊ハ如何デス

○政府委員(小河正儀君) 御尤モ御質問

○男爵周布兼道君 次ニ伺ヒタイコトハ此ノ法案ノ罰則ノコトデゴザイマス、他ノ南拓ノ如キ例ヲ見マスルコト云フト、殆ド似タヤウナ仕事ヲスル會社デゴザイマスガ、其ノ罰則ト云フモノハナイヤウニ思ッテ居リマス、然ルニ此ノ法案デハナカ／＼罰則モ強化サレテ五千圓迄ト云フコトガアリマス、ドウ云フ譯デゴザイマセウカ、何カ特ニ此ノ樺太ニ付キマシテ、此ノ會社ニサウ云フ風ニ重クシテケレバナラナイト云フ意味ガ何カゴザイマセウカ

○政府委員(北島謙次郎君) 只今御引例ニナリマシタ南洋拓殖ニ付キマシテハ、御話ノ通り罰則ガゴザイマセヌ、是ハ實ハ法律論ニナリマスガ、南洋群島又ハ關東州ノヤウナ處デハ憲法ガ施行セラレナイト云フ從來政府ノ解釋ニナッテ居リマシテ、從ッテ立法事項ト雖モ勅令デ規定シテ宜シイ、ソレデ關東州、南洋群島ノ關係ノモノニ付キマシテハ、普通デアリマシタラ法律ヲ要スル事

○政府委員(小河正儀君) 御尤モ御質問

○男爵周布兼道君 次ニ伺ヒタイコトハ此ノ法案ノ罰則ノコトデゴザイマス、他ノ南拓ノ如キ例ヲ見マスルコト云フト、殆ド似タヤウナ仕事ヲスル會社デゴザイマスガ、其ノ罰則ト云フモノハナイヤウニ思ッテ居リマス、然ルニ此ノ法案デハナカ／＼罰則モ強化サレテ五千圓迄ト云フコトガアリマス、ドウ云フ譯デゴザイマセウカ、何カ特ニ此ノ樺太ニ付キマシテ、此ノ會社ニサウ云フ風ニ重クシテケレバナラナイト云フ意味ガ何カゴザイマセウカ

○政府委員(北島謙次郎君) 只今御引例ニナリマシタ南洋拓殖ニ付キマシテハ、御話ノ通り罰則ガゴザイマセヌ、是ハ實ハ法律論ニナリマスガ、南洋群島又ハ關東州ノヤウナ處デハ憲法ガ施行セラレナイト云フ從來政府ノ解釋ニナッテ居リマシテ、從ッテ立法事項ト雖モ勅令デ規定シテ宜シイ、ソレデ關東州、南洋群島ノ關係ノモノニ付キマシテハ、普通デアリマシタラ法律ヲ要スル事

○男爵周布兼道君 次ニ伺ヒタイコトハ此ノ法案ノ罰則ノコトデゴザイマス、他ノ南拓ノ如キ例ヲ見マスルコト云フト、殆ド似タヤウナ仕事ヲスル會社デゴザイマスガ、其ノ罰則ト云フモノハナイヤウニ思ッテ居リマス、然ルニ此ノ法案デハナカ／＼罰則モ強化サレテ五千圓迄ト云フコトガアリマス、ドウ云フ譯デゴザイマセウカ、何カ特ニ此ノ樺太ニ付キマシテ、此ノ會社ニサウ云フ風ニ重クシテケレバナラナイト云フ意味ガ何カゴザイマセウカ

ウナ方針ヲ採ッテ居リマシテ、最近ノ立法デハ大體此ノ程度ニ相成ッテ居リマスガ、現在ト致シマシテハ過去ニ出來タ例ハ東洋拓殖ダトカ、或ハ臺灣拓殖ダトカ、サウ云フモノニ較ベマス勢ヒ其ノ方ガ整理シテゴザイマセヌデ、コチラノ方ガ高クナッテ其ノ間ニ不均衡ヲ生ジテ居ルト云フ嫌ヒモナイデハナイト存ジマス、從ヒマシテ從來ノ東拓、或ハ臺灣ニ付キマシテモ適當ノ機會ニ於キマシテハ、矢張り是ト步調ヲ合セルヤウニ改正スル方ガ適當カト思ヒマスケレドモ、今回ハ其ノ手續迄ハ致シテ居ラヌ次第デゴザイマス

○秋田三三君 南樺太ノ北ノ方ニ「ツンドラ」ガ澤山アルヤウデアリマスガ、何時カ豐原ノ試験場で見マシタ時ニ、其ノ「ツンドラ」ノ加工品ガ随分色々ナ種類ノ立派ナ物ガアルヤウデス、數番ニアリマス「ツンドラ」ノ工場ヲ見マスモダ資金ガ足ラナイヤウダシ、又是等ノ立派ナ製品ヲ出ス迄ニ工業化シナイヤウナ憾ミガアルヤウニ感ジタノデアリマスガ、此ノ非常時ニ豐富ナ「ツンドラ」ヲウマク工業化シテ利用シタナラバ、是亦樺太ノ一ツノ富源ニモナルシ、立派ナ産業トナルト思フノデアリマスガ、此ノ開發會社ニ於テハ之ニ對シテ御計畫ハナイノデアリマセウカ、之ニ對スル御考ヘヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小河正儀君) 便宜私カラ御答ヘ申上ゲマスガ、樺太ニアリマス「ツンドラ」ハ極端ナ言葉ヲ以テ申シマスルナラバ、無盡藏ト申シテモ宜イ、相當大量ニ賦存ヲ致シテ居ルノデゴザイマシテ、之ガ利用開發ト云フコトガ能ク行ハレマスルナラバ、國家ノ爲非常ニ結構ナコトダト考ヘテ居ル

ノデゴザイマス、現ニ之ニ關スル試験研究ヲ進メマシテ、其ノ一部ハ既ニ企業化シテ居リマスコトハ唯今秋田委員カラ申サレタ通りデゴザイマスガ、現在ヤッテ居リマスル企業ト致シマシテハ「ツンドラ」ヲ脱水ヲ致シマシテ、サウシテ之ヲ壓搾シテ防熱、防水、防音ノ板ヲ拵ヘルト云フ仕事デゴザイマス、所謂「テックス」、其ノ用途ト致シマシテハ色々ナ冷蔵庫デアリマス、戰車ノ内張デゴザイマス、色々ナ方面ニ利用ヲサレルノデゴザイマシテ、現ニ企業致シテ居リマスル數番ノ「ツンドラ」工業株式會社ハ主トシテ此ノ仕事ヲ致シテ居リマス、尙此ノ外是等ヲ化學的操作ニ依リマシテ「ピッチ」ヲ採リ、砂糖分ヲ抽出シ、更ニ其ノ砂糖分ヲ醱酵セシメテ「アルコール」ヲ採ルト云フヤウナ試験モ進ンデ居リマスガ、此ノ點ニ於キマシテハ未ダ試験室ニ於ケル試験時代デゴザイマシテ、之ヲ工業化シテ計算ニ合フカト云フ點ニ於キマシテハ幾多疑問ノ點ガ殘サレテ居ルノデゴザイマス、斯様ナ點ニ於キマシテハ尙試験研究ノ時代ト申スノ外ハナイト思ヒマス、從ッテ將來此ノ試験研究ノ結果ガ進ンデ參リマスルナラバ、之ヲ企業化スルト云フコトハ考ヘ得ベキコトデアルト思ヒマス、又此ノ「ツンドラ」ニ或醱酵菌ヲ加ヘマシテ、之ヲ醱酵作用ニ依ッテ飼料トスル、家畜ノ食物デゴザイマス、此ノ試験研究モ既ニ東京ノ高等農林學校ニ於キマシテ試験ノ結果ハ既ニ判明致シテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ企業化スルト云フコトノ採算ノ點ニ於キマシテ尙疑問ノ點ガアツテ、其ノ儘ト相成ッテ居リマス、將來此ノ開發會社ニ於キマシテモ適當ナル機會ニ此ノ試験研究ノ結果ガ進ミマスルナラバ、既

存ノ業者ト提携スルナリ、或ハ新ナル業者ト提携致シマシテ、之ガ開發ニ當ルト云フコトニ容カデアルモノデハナイノデゴザイマス、併シナガラ今直チニ此ノ企業ニ著手スルト云フ迄ノ試験研究ノ結果ガ現レテ居ラナイコトヲ只今デハ遺憾ト致シテ居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御質疑ハゴザイマセヌデセウカ

○子爵米田國臣君 只今秋田委員ノ御質問ト殆ド關聯シテ居ルノデアリマスガ、樺太ノ養狐業、アレガ可ナリ盛デアッタノガ、昨今ノ此ノ情勢デ大分仕事ガムヅカシイト云フヤウナ風ニ伺ッテ居リマスガ、其ノ後ドウ云フコトニナッテ居リマスカ、内地ノ利用モ多分止ッテ居ルダラウト思フノデスガ

○政府委員(小河正儀君) 樺太ニ於ケル養狐業ハ異常ナル發達ヲ致シマシテ、此ノ儘デ進ミマスルナラバ、樺太ニ於ケル非常ナル大キナ産業ト相成リマスルシ、而モ他ノ企業ト異リマシテ、大部分ガ普通ノ農家ノ副業ト相成ッテ居リマシテ、農家ノ採算上非常ニ有利ナ仕事トシテアッタノデゴザイマスガ、最近ノ時局ノ關係上如何ニモ狐ノ皮ヲ利用シテ居レバ贅澤ヲシテ居ルヤウニ見ラレル爲ニ其ノ販路ガ非常ニ狭マリマシタ上ニ、更ニ國際關係上今迄「ロンドン」ニ大量ノ輸出ヲ致シテ居リマシタモノガ、其ノ輸出ノ途ガ止リマシテ、養狐業者ハ非常ニ困ッテ居ルコトハ只今米田サンカラ御尋ノ通りデゴザイマス、何トカシテ之ヲ打開致シタイト思ヒマシテ、狐ノ毛皮ノ實用化ト云フコトヲ實ハ考ヘマシテ、贅澤品デナク實際ノ用ニ供スルモノト云フコトヲ考ヘマシテ、養狐業者ノ組合ニ各種ノ試製品ヲ拵

ヘサセマシテ、或ハ羽織ノ下ニ著ルモノデアリマスルトカ、或ハ襟巻ニ致シマシテモ極ク廉價ニ之ヲ出サウニ、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ三、四十圓デ襟巻ガ出來ル、是ハ頭トシッポノ附イタモノデゴザイマセヌガ、サウ云フヤウナコトノ考ヲ致シマシテ試製品ヲ致サセテ、先般三井物産デハホンノ狭イ範圍ノ展觀デゴザイマスガ、展觀ヲ致シマシタデス、尙將來改良ヲ加フベキ點ハ多クアルト思フノデゴザイマスルガ、之ガ實用化ニ將來共努メテ行キタイト考ヘテ居リマス、考ヘ様ニ依リマス狐ノ皮ト云フモノハ全部國內ノ物資ニ依ッテ生産セラレルモノデゴザイマス、之ヲ用ヒナイ爲ニ之ヲ死藏致シマシテ、新タニ或ハ毛織物ノ襟巻、肩掛トカ云フヤウナモノヲ致シマスル爲ニハ輸入ノ羊毛其ノ外ノモノヲ使用シナケレバナラヌ、今日一體理窟ヲ申シマスルト、國內デ出來ルモノヲシマヒ込ンデ外國カラ輸入ルモノヲ使ハナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、非常ニ矛盾ガアルヤウデゴザイマスケレドモ、何ダカ狐ノ皮ヲ首ニ卷イテ居リマスト如何ニモ贅澤ナモノノヤウニ見エテ、時局的ノ反感ヲ買フノデ、今日ノ國民ノ感情上非常ニ困ッテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ感情モ將來ハ是正セラレル時ガアルト思ッテ居リマス、サウシテ一方ニ於キマシテハ海外ノ販路ヲモ何トカシテ開拓スルノ必要ガアルト思ヒマシテ、可ナリノ損失ヲ見マシテ今回「アルゼンチン」ニ輸出ヲサセマシタデス、是ハ數日前ノ船デ出シマシタ、北海道及樺太ノ皮ヲ大體二萬枚以上出シマシタ、其ノ三分ノ二ガ大體樺太ノモノヲ輸出ヲサセテ居リマス、若シ此ノ結果トシテ好イ成績ヲ得ルナラバ、將

來續イテ之ガ輸出ノ勸奨ニ當リタイト考ヘテ居リマス、ソレト共ニ養狐事業ノ經濟化ト申シマスルカ、所謂生産費ノ低下ト云フコトニ力ヲ致サセマシテ、今迄數百圓、數千圓致シテ居リマシタ狐ノ皮ヲ少クトモ百圓以下位デ實用ニナルヤウニ指導シテ行キタイ、實ハ斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵米田國臣君 能ク分リマシタ、一時非常ニ盛ニナリマシタ事業ノコトデゴザイマスカラ、是非一ツ御配慮ニ依ッテ持續シテ行キタイト思ヒマス、モウ一ツ、是ハ御答ヲ伺ッテ宜イカドウカト思ヒマスルガ、樺太ニ於キマスル馬匹ノ改良デアリマス、先年拜見シマシタ時ニハマアアレハ「ロシア」人ガ殘シテ行ッタ馬デスカ、エライ骨格ノ良イ、背幅ノ廣イ、ドチラカト申シマス鈍重ナ馬ガ澤山アッテ、農耕ニハ極ク適當ダト思ヒマスガ、今日陸軍ガ要求シテ居ルヤウナ軍馬ニハ少シ不適當デヤナイカト云フヤウナ感ジヲ持ッタノデアリマスガ、昨今此ノ馬匹ノ改良ト云フコトニ何カ御著手ニナッテ居リマスカ、若シ伺ヘマシタラ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(小河正儀君) 樺太ノ馬匹ハ只今御尋ニナリマシタ通り、以前ハ例ノ「ロシア」系ノ「オルロフ・トロツター」ト云フ非常ニ馬格ノ大キナ馬ガ主トシデアリマシテ、農耕ニハ使ヒマスガ、軍用ニ使ヒニクイ資質ノモノガ多ク「デアリマス、最近ハ東北、北海道カラ種牡馬ヲ入レマシテ、又繁殖牝馬モ入レテ居リマスノデ、最近生産致シマスル馬ノ骨格ハ以前ト餘程變ッテ參リマシテ、恰モ只今軍デ要求スルガ如キ馬格ノ馬ノ生産ヲ見ルヤウニナリマシタ、最近ノ軍馬購買ノ成績其ノ外ニ依リマシテモ非

常ニ成績ガ良イヤウデ、ソレデ牧野モ尙廣イ所デゴザイマスシ、飼料モ豊富ニアル所デゴザイマスノデ、將來此ノ方面ニ新タニ馬匹ノ資源ヲ開發スルト云フコトガ必要ナノデハナイカト云フコトヲ、其ノ方ノ専門ノ方ガ只今研究サレテ居ルヤウナ次第デアリマス、從ッテ只今之ガ改良ニ如何ナル手段ヲ講ジタカト云フコトハ、只今政府ノ要求スルヤウナ「ノルマン」系統トカ云フヤウナモノノ種牡馬ヲ入レテ種付ヲ致シテ居ルヤウナ程度デアリマシテ、之ヲ積極的ニ更ニ進メテヤルト云フ迄ニ進ンデ居リマセス

○男爵西田乙君 先日梅園子爵カラノ御質問ガザイマシタ、ソレニ關聯致シタコトデゴザイマスガ、其ノ後政府ノ御説明ニ依リマシテハ、此ノ樺太ノ開發ヲ樺太開發株式會社ニ依ッテ、一般ニ能率アル開發ヲナサレ爾御計畫デアルト云フコトハ能ク了承致シマシタガ、ソレニ付テ東拓トノ關係ニ於キマシテモ、東拓ヲ親會社トシテ資金並ニ技術ノ協力ヲ得ルヤウニスルト云フ御方針デ、是モ他ニ例モアリマスル國策會社ノ對立ト云フヤウナコトガナクナルコトデ、大變結構ナコトダト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ、此ノ際樺太ヘ東拓ノ進出ノ契機トナリマシタ帝國燃料ノ株式ヲ樺太開發會社ニ肩代リセシメラレテ、將來トモ對立スルヤウナコトノナイヤウナ方法ヲ御執リニナル御考ハナイモノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(小河正儀君) 便宜私カラ御答ヲ申上ゲマス、只今東拓ガ持ッテ居リマスル帝燃ノ子會社デアアル樺太人造石油株式會社ノ株ヲ肩代リスル考ハナイカト、斯ウ云フヤウナ御尋カト存ジマスガ、將來サウ云フ

ヤウナコトガ起ルカモ知レマセマスガ、只今ノ所デハ東拓ノ持ッテ居リマスル株式ヲ此ノ會社ニ肩代リスルト云フコトハ豫想ハ致シテ居ラナイノデゴザイマス、唯他日現在ノ工場デハ日本ノ只今ノ狀況デハ不十分デアラウ、之ヲ擴張スル必要ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマシテ、或ハ別ノ工場ヲ建テルトカ云フヤウナ必要ガ生ジルノデヤナイカト思ヒマスガ、左様ナ場合ニ於キマシテハ、此ノ開發會社ガ株式ノ一部ヲ持ット云フコトハ當然想像セラル、コトダト考ヘテ居リマスガ、既存ノ今迄ノ分ヲ肩代リスルト云フコトハ、將來ハ兎モ角、現在ニ於キマシテハ未ダ考ヘテ居リマセス

事トモ亦必要デアルト考ヘルノデアリマス、是等ニ付テ當社ハ設立ノ曉ニ著手サレル考ハナイカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス、電氣事業デアリマスガ、先日ノ御話デハ樺太ハ電氣料金ハ「キロ」七錢ト云フヤウナ御話デアリマシタガ、「キロ」七錢ト申シマスルト恐ラク日本一ノ高イ料金ダト考ヘマス、「キロ」七錢ノ電力料ヲ拂ッテ居ッテハ經濟産業ノ發達ハ到底望マレヌ、樺太ハ水力電氣ノ見込ハ餘リ立タナイナラバ、各所ニアル豐富ナル石炭ヲ以テ火力發電ヲ各地ニ起シ、低廉ナル電力ヲ供給シテ、經濟開發ノ助成ヲサレルナラバ非常ニ宜イコトデハナカラウカト考ヘルノデアリマシテ、此ノ十二條ノ營業種目ノ中デモ、此ノ國策會社トシテヤルベキ事業ハ是等ガ最モ適當デアルト考ヘルノデアリマス、此ノ二ツノ點ニ付テ重ネテ御伺ヒシタイト思ヒマス

○佐藤助九郎君 先日來各委員ノ方々ノ御質疑、應答ニ依リマシテ今更私ガ蛇足ヲ加ヘル必要ハナイト思フノデアリマスガ、大體現在ノ樺太經濟開發ノ狀況ヲ見マスニ、最モ遲レテ居ルノハ鐵道運輸事業ト電力事業デアルト考ヘルノデアリマス、申ス迄モナク鐵道運輸モ電力モ經濟開發トハ不可分ノモノデアリマシテ、例ヘバ西海岸ノ開發ノ爲ニハ久春内カラ惠須取、安別迄ノ海岸線ガ速急ニ完成サレルコトガ絕對ニ必要デアルト考ヘルノデアリマス、惠須取、安別ノ兩炭田ハ御承知ノ通り冬季ハ殆ド搬出ハ不可能デアリマシテ、此ノ鐵道ガ若シ建設サレルナラバ眞岡ノ不凍港ト完全ナル連繫ガ執レマシテ、年中各地ヘ輸送ガ出來ルト考ヘルノデアリマス、ノミナラズ此ノ久春内ト東海岸ノ眞縫ノ橫斷線、又ハ惠須取カラ東海岸ニ出ル橫斷線ノ如キモ、此ノ樺太經濟開發ノ爲ニ最モ必要デアルト同時ニ軍

○政府委員(小河正儀君) 便宜私カラ御答ヘ申上ゲマスルガ、樺太ノ經濟開發ノ爲ニ交通ノ整備ト動力ノ低廉化ト云フコトガ最モ大事デアリマスコトハ、佐藤議員ノ御質問ニアリマシタ通りニ同様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、而シテ交通運輸ノ點ニ於キマシテハ、只今御尋ノ西海岸線ハ久春内迄ハ開通致シテ居リマスガ、元來此ノ計畫ハ泊居ト申シマシテ、其ノ少シ南ニゴザイマスガ、泊居カラ惠須取迄ノ鐵道ノ建設計畫デアリマシテ、是ハ昭和十九年迄ニ完成ヲ致ス豫定ノ下ニ工事ヲ進メテ參リマシテ、只今デハ久春内迄開通ヲ見テ居リマス、只今ハ軌條、路盤ノ完成致シテ居リマスノハ、其ノズツト北ニアリマスル珍内ト申ス所ガゴザイマスガ、珍内ノ北ノ大部分ハ濟ンデ居リマシテ、其ノ中デ軌條ハ約十五六「キ

ロバカリ既ニ敷ケテ居リマス、唯資材ノ關係デ非常ニ困難ヲ致シテ居リマスルガ、來年度ニ於キマシテ若シ資材ガ順當ニ入手セラレナラバ、少クトモ珍内迄ハ開通セシメマシテ、珍内附近ニアリマスル炭田ノ石炭ヲ眞岡迄陸路輸送ヲ致シマシテ、眞岡カラ冬季間積出ヲスルト云フヤウナコトニ計ラヒタイト思ツテ、折角督勵ヲ致シテ目下進ンデ居ル所デゴザイマス、ソレカラ珍内以北、惠須取間モ出來得ル限リ速カニ是ガ完成ニ當リタイト考ヘデ目下路盤ノ建設其ノ他ヲ急ガシテ居ル狀態デゴザイマス、ソレカラ惠須取以北ニ於キマシテハ、惠須取カラ其ノ少シ北ニアリマス北小澤ト云フ所ガゴザイマスガ、是ハ名好ト云フ處ノ少シ南ノ方ニアリマス、此處ハ最モ優良ナル炭ノ埋藏ヲ致シテ居リマスル炭鑛ノアル所デゴザイマシテ、此ノ間ニ大平、塔路、上塔路白鳥澤、北小澤ト云フ相當大キイ炭鑛ガ連續致シテ居リマス、此ノ石炭ヲ積出ス設備ト致シマシテ現在惠須取ノ築港ノ計畫ヲ致シテ居リマスガ、此ノ築港計畫ト關聯致シマシテ、是等ノ炭ヲ惠須取港カラ積出シマスル爲ニ鐵道ヲ敷クコトニ致シマシテ、是ハ各炭鑛業者ノ共同ノ出資ニ依リマス私設鐵道ノ惠須取鐵道ト云フモノヲ昨年創立ヲ致サセマシテ、是亦目下建設中ニ屬シテ居リマス、其ノ北小澤以北ノ鐵道ニ關シマシテモ、惠須取迄ノ開通ヲ見タ上ハ更ニ進ンデ陸路安別迄此ノ鐵道ヲ進メルコトガ當然デアルト實ハ考ヘテ居リマスルガ、此ノ點ハマダ豫算デ要求ヲ致シテ御審議ヲ仰グ迄ニ至ツテ居リマセスデ甚ダ残念デゴザイマス、但シ此ノ間ノ交通ヲ整備致シマスル爲ニ取敢ズ只今國道ノ建設ヲ致シテ居リマシテ、

昭和十五年度末迄ニ西柵丹ト申ス所ガゴザイマス、丁度安別ト名好トノ中間ニ相成ツテ居リマス、此處迄國道ガ開鑿セラル、豫定ニ相成ツテ居リマス、此ノ西柵丹ト申シマス所ハ強度ノ粘結性ノ非常ニ立派ナ石炭ガ澤山埋藏サレテ居ル所デゴザイマス、是非ソレ迄ヤリタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ尙御尋デゴザイマシタ東西ノ兩海岸ヲ繋グ路線ハ、南方ニ眞眞線ト云フ眞岡ト豐原ヲ繋グ唯一線ガアルダケデゴザイマシテ、他ニ此ノ間ニ鐵路ガナイノデゴザイマス、此ノ點モ非常ニ不便ニ考ヘテ居リマシテ、只今御示シノ久春内カラ眞眞ニ至ル眞縫山道ト申シマシテ、其處ニ國道ガゴザイマスガ、之ヲ繋グ國道、ソレカラ惠須取カラ敷香方面ニ參リマスル内路ト申シマスガ、此處ニ今内惠道路ト申シマシテ國道ガゴザイマスガ、此ノ國道ヲ繋グ線路、更ニ尙北方ニ參リマシテ、只今申シタ西柵丹ト中央ノ國道トヲ繋グ路線ト云フヤウナモノハ必要デアルト考ヘテ居リマス、更ニ敷香カラ東北方ノ山中ニ進ミマスル鐵道モ、是ハ材木ノ搬出、其ノ奥ニ石灰石ノ豐富ナ賦存ガゴザイマスガ、尙其ノ地帯ハ丁度火成層ノ地帯デゴザイマシテ、他ノ非鐵金屬其ノ他ノ金屬地下資源ガ相當ニアル豫定デ、只今ソレガ調査ニ當リツ、アリマスルガ、斯様ナル地點ノ開發ノ爲ニ其ノ鐵道ガ實ハ必要デアルト考ヘテ居リマス、是ハ漸ヲ逐ウテ開發ニ當リタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ動力ノ問題デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ先日御尋ガアリマシテ、一應ハ御答ヘ申上ゲテ置キマシタガ、只今既存ノ電力業者ヲ合同セシメマシテ、サウシテ統制ヲ圖ル話ヲ進メテ居リマス、是ガ成立致シ

シマシタナラバ、何處カ大量ニ採掘ヲ致シマス炭鑛ノ近クニ相當大キイ火力發電所ヲ設ケマシテ、サウシテ電力ノ低廉ト云フコトヲ圖リタイト考ヘテ居リマスルガ、更ニ進ミマシテ、樺太ニ於キマシテモ水力電氣ノ資源ハ相當ニアリマシテ、逕信省ノ技術員ニ依ル調査ノ結果ニ依リマスルト、差當リ開發シ得ベキ資源ガ二十萬「キロ」位、數箇ノ河川ノ流域ニ互ツテアルト云フ調査ニ相成ツテ居リマス、之ヲ開發スルコトニ依ツテ、石炭ガ澤山アル島デハゴザイマスルガ、石炭ヲ成ルベク他ノ方面ニ使ヒマシテ、斯様ナ無駄ニ流レ去ツテ居ル水ヲ利用シテ豐富低廉ナル電力ヲ起シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ努力ヲ致シタイト折角考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 佐藤君、モウ質問ハゴザイマセスノデスカ

○佐藤助九郎君 ゴザイマセス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ如何デゴザイマスカ、此ノ程度デ質問ヲ終了致シタイト思ヒマスガ、御差支ハゴザイマセスデスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ質問ハ終了致シマシタ、直チニ討論ニ移リタイト思ヒマス、御意見ガゴザイマス御方ハ御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 私ハ本案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス、元來本案ノ如キモノハ樺太領有當初ニ於キマシテ、既ニ之ガ立案アツテ然ルベキモノデアッタト考ヘルノデアリマス、今日漸ク之ガ提案ヲ見マシタコトハ、寧ロ其ノ遲キニ失シタカノ感ヲ懷ク位デアリマス、由來樺太ノ資源ハ石炭、森林及ビ

漁業ニ限ラレテ居ルノデアリマシテ、他ニ豐富ナル資源ハナイノデアリマス、從ツテ樺太ノ開發ハ其ノ地下埋藏ノ石炭及森林、漁業ノ利用ニ依ツテ其ノ得タル所ノ富ヲ以テ拓殖民事業ニカヲ致ス外ナイノデアリマス、而シテ之ガ開發ハ莫大ノ資金ヲ要スルノデアリマス、又石炭、木材ノ増産其ノ他ニハ物的竝ニ人的ノ資材ヲ要求スルコト多大デアリマスルノミナラズ、其ノ配給ニ付キマシテハ一段ト政府ノ庇護ヲ要スルノデアリマス、從ツテ樺太ノ開發ハ一ニ國策會社ノ設立ニ俟タザルヲ得ナイノデアリマス、即チ樺太ノ開發ノ最良最善ノ手段ハ、國策會社ノ設立ニアリト申サナケレバナラナイト信ズルノデアリマス、而モ樺太島民ハ本案ノ成立ヲ猛進シテ希望致シテ居ルト云フコトデアリマス、然ラバ此ノ民ノ聲ヲ聽キ、民意ヲバ容ル、ト申スコトモ、亦政治ノ要諦デアルト申サネバナリマセス、仍テ私ハ本案ノ成立ヲ希望致ス者デアリマス、併シナガラ從來設立ヲ見マシタ所ノ多クノ國策會社ハ其ノ成績ガ芳シクナイノデアリマス、仍テ政府ハ其ノ缺陷ヲ探究シ、其ノ失敗ニ鑑ミマシテ萬遺漏ナキヲ期セラレタイノデアリマス、殊ニ拓務當局竝ニ樺太廳ニ於テハ一面十二分ノ努力ヲ拂ヒ、以テ本會社ノ成長ヲ極力助長セラル、ト共ニ、他面既存ノ事業家ヲ壓迫セザルノミナラズ、之ヲモ適當ニ庇護セラル、コトニ依リマシテ、圓滿ニ樺太開發ノ目的ヲ達成セラレムコトヲ茲ニ希望致シマシテ、本案ニ賛成ヲ致ス次第デアリマス

○公爵岩倉具榮君 樺太開發株式會社ノ性格竝ニ其ノ使命ニ付テハ、之ヲ恰モ彼ノ大陸ニ於ケル北支及中支ノ兩開發株式會社ニ

比較スベキモノト考ヘマス、右ノ見地ヨリ觀察シテ、此ノ會社ノ國策の使命ハ相當重要ナルモノデアリ、殊ニ日ソ兩國國交調整ノ好機ニ遭遇シテ居ル今日、我が帝國ノ外交、軍事並ニ寒帶地域産業開發ノ點等ヨリ見テ、其ノ將來ニ期待スベキモノガ多イノデアリマス、樺太ノ持つ地理的條件ハ、言フ迄モナク日ソ國境陸續キノ地帯デアリ、石油ヲ始メ重要産業資源地帯タルト同時ニ、更ニ又其ノ沿海一帯ハ所謂漁業地トシテ餘リニ有名デアリマス、本會社ガ豊原ニ本社ヲ設置シテ、之ニ我が北進活躍ノ經濟的使命ヲ負ハシムルコトハ誠ニ時局柄意義深大ナモノガアルト思ヒマス、以上ノ見解ニ基キ、本會社ノ堅實活潑ナル發展ノ爲、社業ノ時局の重大使命ト其ノ經濟的發展ヲ策スル必要上、速カニ其ノ創立活動ヲ望ミマシテ、私ハ本案ニ贊成致シマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 其ノ他ニ御發言ハゴザイマセズデゴザイマセウカ、御發言ガナケレバ討論ハ是デ終結ヲ致シタコトト致シタイト思ヒマス、直チニ採決ニ入リタイト思フノデアリマス、本案ニ對シテ、原案ヲ贊成スル諸君ノ舉手ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔總員舉手〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 全會一致、本案ハ原案ノ通りニ可決サレマシタ、是デ本委員會ヲ終了致シマス、長イ間御苦勞デゴザイマシタ

午前十一時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 男爵周布 兼道君

委員

國務大臣

拓務大臣

秋田 清君

政府委員

拓務次官

北島謙次郎君

拓務省殖産局長

植場 鐵三君

樺太廳長官

小河 正儀君

公爵岩倉 具榮君

侯爵井上 三郎君

子爵米田 國臣君

子爵梅園 篤彦君

子爵綾小路 護君

平塚 廣義君

男爵松田 正之君

男爵西 酉乙君

三浦 新七君

有賀 光豐君

秋田 三一君

佐藤助九郎君